

美祢市長のインタビュー記事が 掲載されましたのでご紹介します



「黒」「白」「赤」のキーワードで「世界ジオパーク」の認定を目指す美祢市の観光ポスター

野柳」という有名な地質公園があります。また、台湾の人々はたいいへん親目的で、特に台湾総督となった山口県出身の児玉源太郎には好感をもたれています。そこで台北を拠点にすれば秋吉台・秋芳洞をはじめ、日本の鍾乳洞の魅力を東アジアへ広くアピールし、さらなる観光客の誘致が図れると考えたからです。

美祢市の大地の自然遺産を「世界ジオパーク」に！

——美祢市は「世界ジオパーク」の認定を目指していますが、どんなメリットがありますか。

村田 美祢市は秋吉台・秋芳洞という県下でも最大の観光資源のほか、歴史的にもそれぞれの時代に大きな役割りを果たした

自然遺産に恵まれています。しかし、これまでは十分にそれが周知されているとはいませんでした。そこで美祢市が新たに目標として掲げたのが「世界ジオパーク」への認定です。これは2004年にユネスコの支援で発足したばかりの制度ですが、そのメリットは世界遺産と違つてその自然遺産を保全しつつ、人と自然の共生や、地域の活性化のために積極的に活用できることです。なおかつ、一度認定を受けたらずつとOKといふものではなく、4年に一度再審査があり、認定を取り消されることもあるため、認定を維持するには、常に努力を重ねなければなりません。つまり、私が市長選で市民にお約束

として捉えていく必要があると考えていた私は、その場でキープをお願いし、今年7月、その場所に台北観光・交流事務所を正式に開所しました。台湾には大陸からも大勢の観光客が訪れる



交流拠点都市構想を熱く語る村田弘司市長

した「美祢市を交流拠点都市にする」という公約を実現し、美祢市を活性化させるうえでも、欠かせない取り組みであると考

えています。高齢者の知恵を活用していただけボランティアガイドとして活動していただき、「ジオツーリズム」といった新たな事業などを創出できる

からです。また、美祢市が世界ジオパークの認定を取得すれば、新たな事業なども創出できます。

——美祢市の大地の自然遺産として「黒」「白」「赤」で表現されているものはなんでしょうか。

村田 「黒」は無煙炭で、日本海

からです。また、美祢市が世界ジオパークの認定を取得すれば、新たな事業なども創出できます。

【黒】「白」「赤」で発信できる美祢市の自然遺産

——美祢市の大地の自然遺産として「黒」「白」「赤」で表現されているものはなんでしょうか。

村田 「黒」は無煙炭で、日本海

海戦でバルチック艦隊を破った日本海軍が使っていました。JR美祢線はこの石炭を運ぶために敷かれた路線です。「白」は大理石・石灰岩の白で、国會議事堂にも美祢産の大理石が使われています。「赤」は銅で、奈良の大仏建立には美祢市の銅が使われました。このように美祢市は山間に立地するとはいえ、歴史的にも人と物流が交差し行き交う場所でした。秋吉台・秋芳洞の観光資源にこういった歴史的遺産をプラスして「世界ジオパーク」の認定を取得すれば、美祢市の付加価値はさらに高まり、世界から多くの観光客を集めることができます。人が集まれば、さらに新しい事業が起こり、若者が働く場所も増えます。若者が都会に出なくてよくなり、都会から戻つて働く場もできるようになります。1次、2次、3次産業を集約した産業形態を「第6次産業化」といいますが、優れた自然と大地にめぐまれた美祢市は、世界に開かれ交流拠点として、この新しい第6次産業のビジネスモデルを確立し、大きく発展できると確信しています。

美祢を交流拠点都市に

グローバル社会を生き抜く地方都市の新しい挑戦

日本最大級のカルスト台地・秋吉台と、国内屈指の大鍾乳洞・秋芳洞を擁する山口県美祢市でこの秋、日本鍾乳洞サミットが開かれた。同市はその恵まれた観光・地質資源を地域の活性化に役立てるため、この夏、台湾に「美祢市台北観光・交流事務所」を開所、「世界ジオパーク」の認定を目指している。グローバル社会における地方都市の新しい活性化の取り組みとして注目される同市の交流拠点都市構想を、村田弘司市長に伺った。

海外の観光客を呼べる鍾乳洞

——日本鍾乳洞サミットとは、どのような会議でしょうか。

村田市長　鍾乳洞を観光地として持つ全国の首長や観光関係者らが一堂に会して観光客誘致対策などを協議する場です。龍泉洞のある岩手県岩泉町やあぶくま洞のある福島県田村市など9つの市町村で構成され、毎年持ち回りで開催しています。美祢市で開催した今年、美祢市は「美祢市台北観光・交流事務所などを活用し、東アジアを中心的に観光鍾乳洞の魅力と正しい情報を発信し、外国人観光客の誘致に

行こうというのが、鍾乳洞サミットの目的です。

地方自治体として初めて海外交流拠点を台北に開所

——「世界ジオパーク」の認定も目指している。グローバル社会における地方都市の新しい活性化の取り組みとして注目される同市の交流拠点都市構想を、村田弘司市長に伺った。

積極的に取り組もう」という提

案を行い、共同宣言として採択されました。東日本大震災に伴う原発事故の風評被害に悩む東

北地方の鍾乳洞から、正しい情報海外の観光客にどう伝えたらいよいかなという問題提起があつたからです。悠久の地球の自然に触れ、ロマンを駆り立てられる鍾乳洞は日本列島に集中しており、海外から観光客を呼べる貴重な観光資源です。秋芳洞といえば、台湾からだけでピーク時には年間10万人以上の観光客が来場しました。全国の鍾乳洞にはそれぞれの魅力があり、それを一緒に内外にアピールして

——「美祢市台北観光・交流事務所」というお話をされました。なぜ台北に観光・交流事務所を開所したのですか。

村田　はい。ピーク時には台湾から年間10万人の観光客が秋吉台・秋芳洞を訪れていたと言いましたが、それがこの20年でどんどん減ってきました。多様化する観光客の価値観を、受入側の認識が足らず見過ごしてしまったからです。そこで私は、美祢市のためには台湾と交流を深める必要があると考え、台北駐福岡経済文化弁事処曾処長のご尽力を得て、昨年11月、南投県の李知事と友好交流の促進に関する確認書に調印することができました。台北観光・交流事務所開所は、この時の訪台がきっかけです。この時、台北101